

絶滅危惧Ⅰ種Bのチョウ「タイワンツバメシジミ」の保存活動

大野岳タイワンツバメシジミ保存会

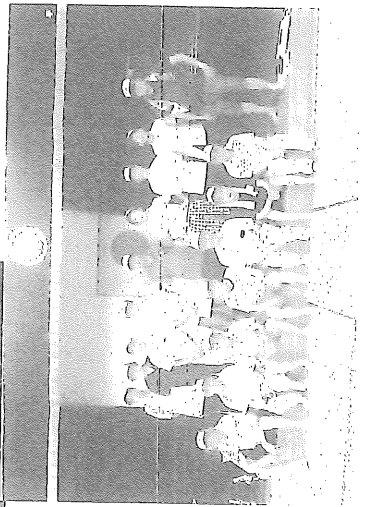
佐賀県

1. H30 活動日誌
2. 活動状況写真（No. ①～⑱）
3. 伊万里市天然記念物指定看板写真
4. H30 保護監視記録
5. 活動成果と今後の課題
6. 講話を聴いた中学生の感想文

H30活動日誌

月日	活動項目	人員	摘要	写真No.
H30/6.18	タカラ助成金贈呈式	1	大阪地震により中止	
7.22	草刈・全体会	23	保存会会員作業	①
7.25	9年生シバハギ定植	15	児童12先生3	②
8.1	助成授与市長報告	3	読売新聞掲載	③
8.5	シバハギ灌水	3	降雨少による枯死防止	④
8.24	安全管理現場打合	4	吉田喜美明顧問指導	⑤
8.26	ワイヤーメッシュ設置、規制ロープ張り	20		⑥、⑦
8.27～10.5	乱獲防止監視	93	延べ40日93名	⑧
9.8	町づくり観察会	8	京の峰塾生他	⑨
9.15	児童観察会	4	児童6先生2町2	⑩
10.20	管理棟・カメラ片付	15		⑪
11.10	秋の公園草刈	68	町協各種団体	⑫
12.19～25	伐根整地	19	延べ5日19名	⑬
31/1.27	ツツジ切株搬出	17	軽トラ8台	⑭
2.12	県表彰受賞式	2	県ストップ温暖化活動受賞式	⑮
4.14	シバハギ播種	4		⑯
4.16	アジサイ植栽届	2	県農林事務所、市教育委員会	
4.24	アジサイ植栽箇所地割	3		⑰
4.28	アジサイ植栽	20	100本	⑱
R1/5.11	アジサイ灌水	3	降雨少による枯死防止	
5.18	春の公園草刈	54	町協各種団体	⑲
動員数合計		381		

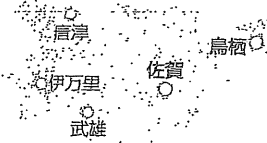
① 7/22 草刈



② 7/25 地元学童によるシバハハギ定植



佐賀



佐賀支局
〒840-0801
佐賀市駅前中央1-9-38
☎0952-24-7141 Fax 24-7144
saga@yomiuri.com

鳥栖支局
☎0942-83-3842 Fax 83-3943

唐津通信部
0955-72-5619 (Fax 兼用)

伊万里通信部
0955-20-4561

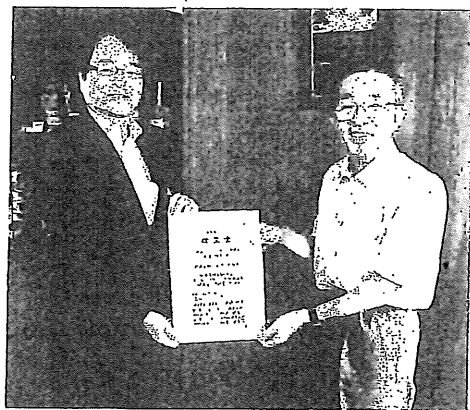
武雄通信部
0954-22-2592 Fax 22-2608

購読は
0120-4343-81

佐賀読売会 0952-26-9338
Fax 29-7136
【広告】0952-23-2847
【折り込み】0952-26-5646
【旅行】読売旅行佐賀営業所
0952-24-5508

貴重なチョウ保護に助成金

宝酒造から45万3000円



宝酒造から助成金を受け、深浦市長(左)に報告する松本会長

伊万里市指定の天然記念物「大野岳タイワンツバメ」の繁殖地として保護活動をしている地元保存会が、宝酒造(京都市)から今年度の助成金として45万3000円が贈られた。保存会の松本輝彦会長(81)らは「貴重なチョウが増えてくれるよう頑張ります」と喜んでいった。

タイワンツバメは、羽根にツバメの尻尾のような突起があり、成虫でもツバメ目ほどの大きさとしかならないのが特徴。台湾など亜熱帯地域に生息し、国内では九州北部、四国南部が北限とされている。環境省のレッドリストでは、野生での絶滅危険性が高い「絶滅危惧1B類」に分類されている。保存会は2015年に結成され、タイワンツバメの幼虫が食べるシバハギを育て、繁殖地での草刈りや監視活動などに取り組んでいる。ただ、15年には1日20匹確認できたのが16年には15匹、17年は6匹まで減ったという。会員らは今月1日、助成金を受けた報告を兼ねて深

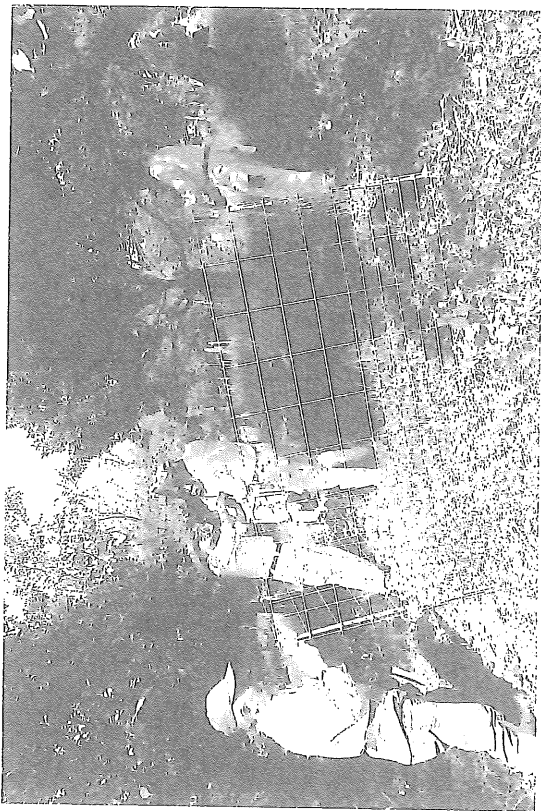
浦弘信市長を訪ね、「これからもチョウが繁殖しやすい環境を守っていきたい」などと話していた。

松本さんらは、地元義務教育学校「市立南波多郷学館」の手ごもたれシバハギを種から育てるなど地道な活動を続けており、助成金は草刈り機の刃の交換や監視カメラ設置などに役立てるといふ。

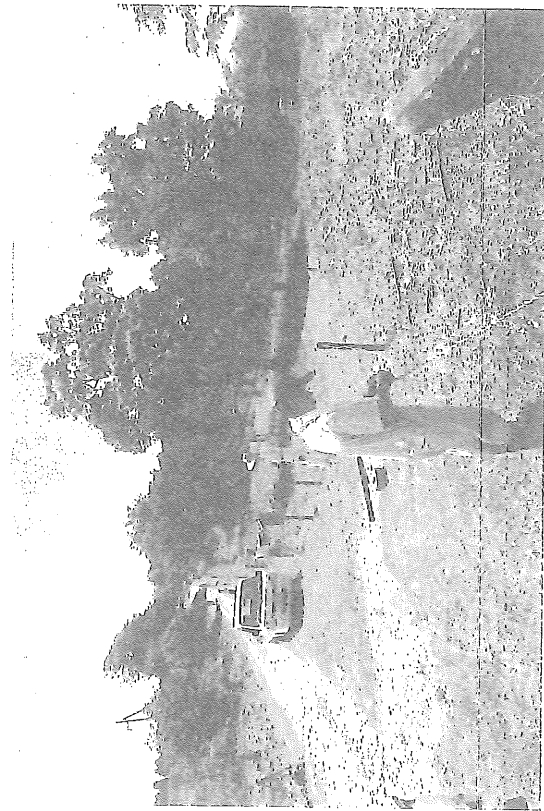
④ シバハギ灌水



⑥ ワイヤメッシュ設置



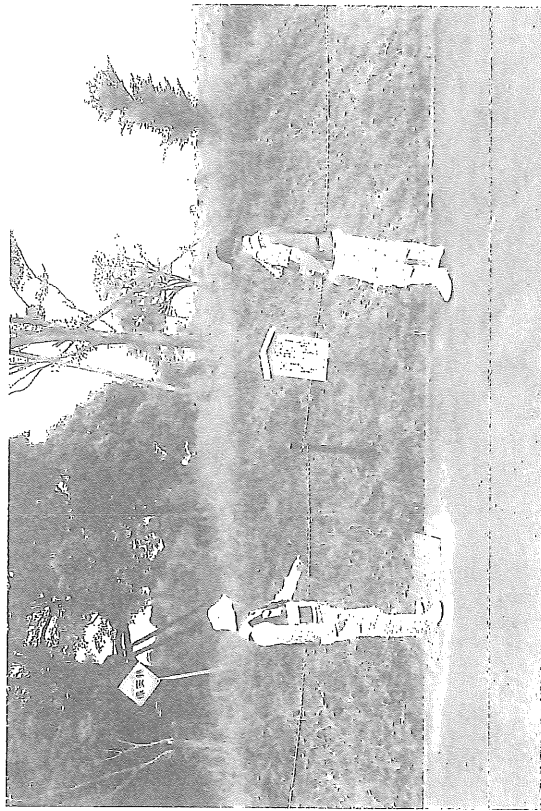
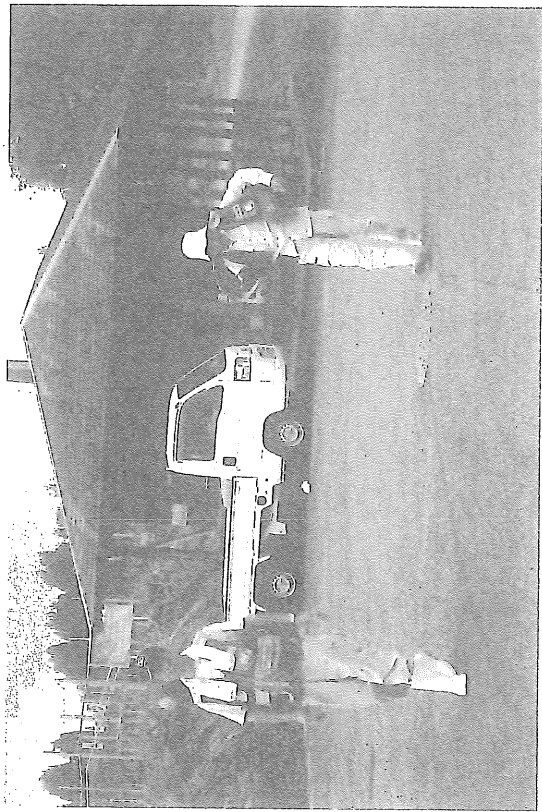
⑦ 規制ロープ張り



⑤ 保管理現場打合せ(吉田 喜美明顧問指導)



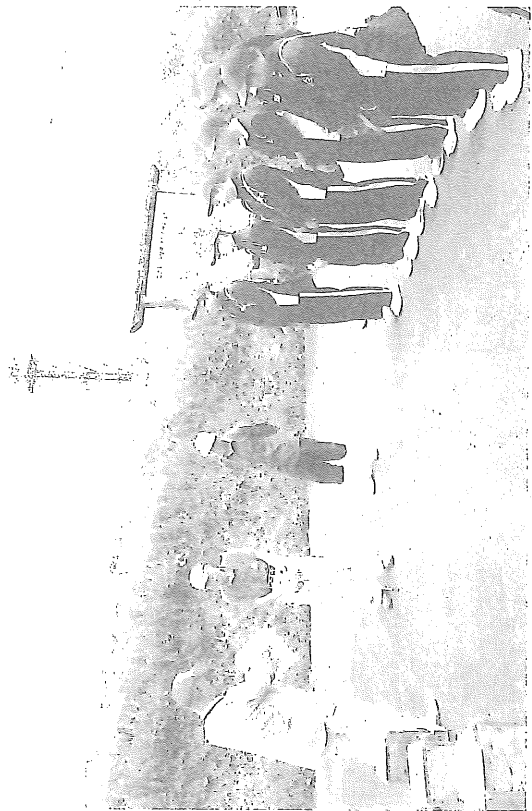
⑧ 乱獲防止監視(8/25~10/5)



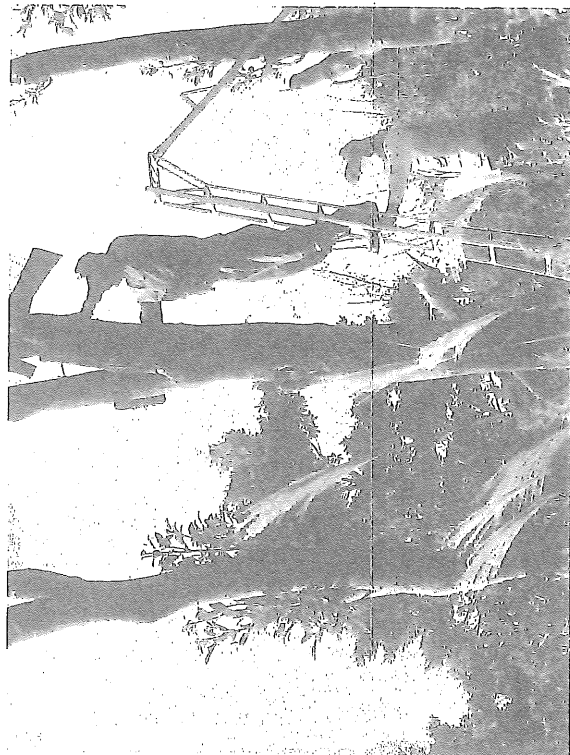
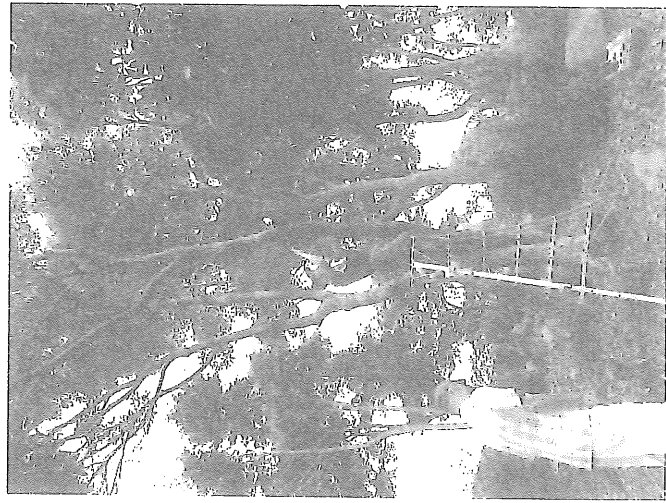
⑨ 町づくり観察会



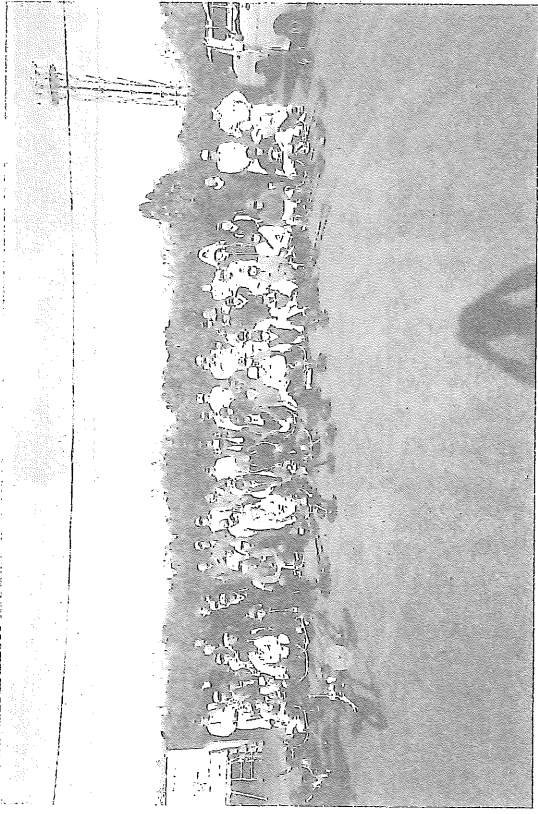
⑩ 児童観察会



⑪ カメラ片付け、管理線掃除



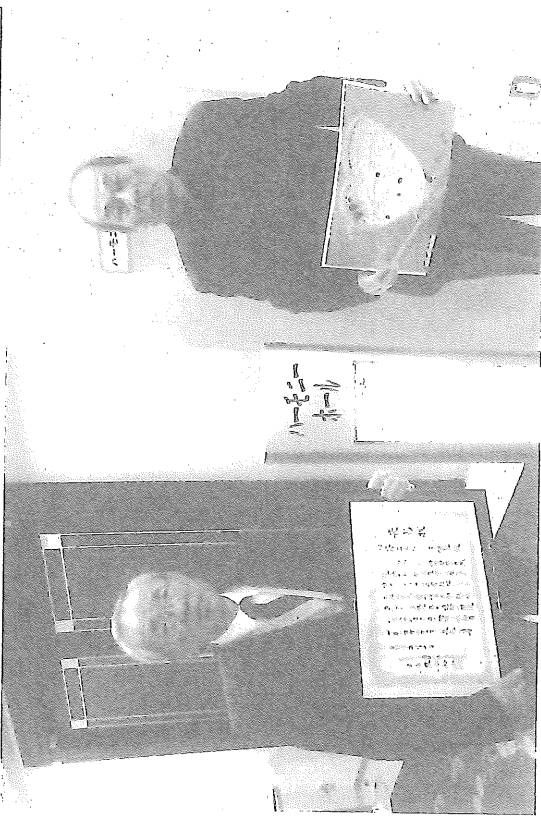
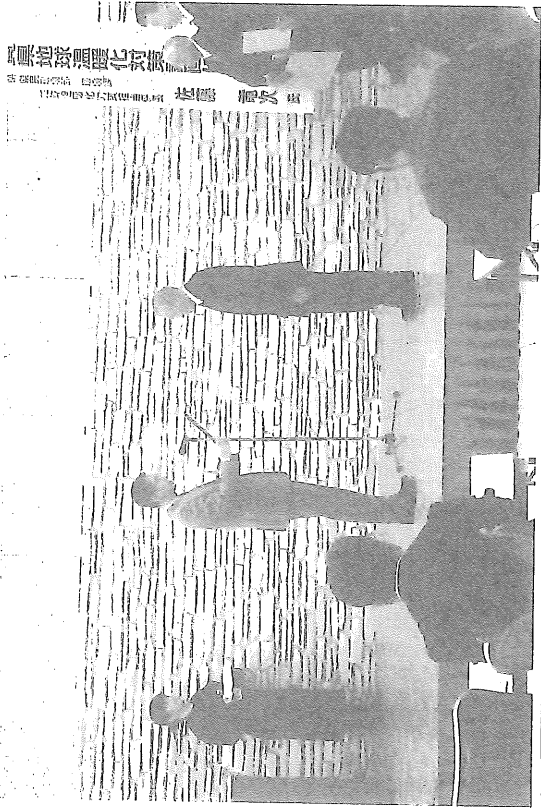
⑫ 秋の公園草刈



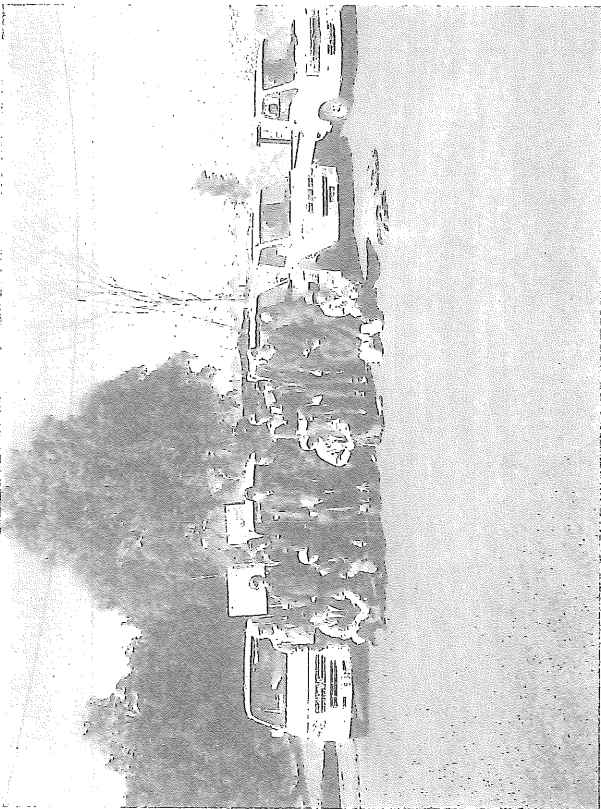
⑬ 伐根整地(12/19~12/25)



⑬ 表彰受賞式



⑭ 切株残渣撤出



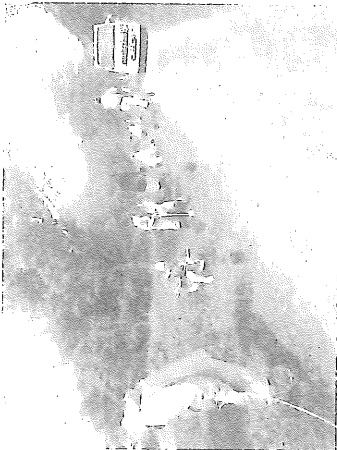
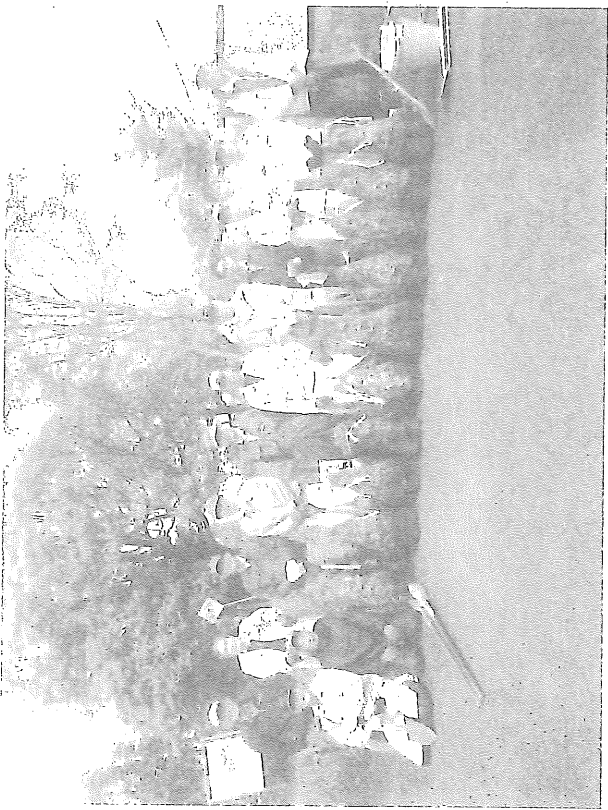
⑰ アジサイ定植位置地割



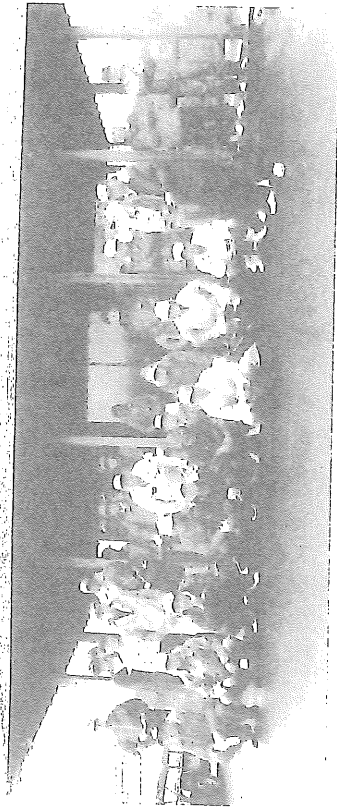
⑱ シバハギ播種



⑭ アジサイ定植



⑮ 春の公園章刈



大野岳タイロシバメシシミ繁殖地

〔市指定天然記念物 平成29年(2017)8月1日〕

〔所在地 甲府県北都賀郡高瀬町大字大野1-1-20番地〕

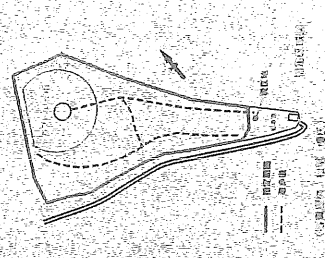
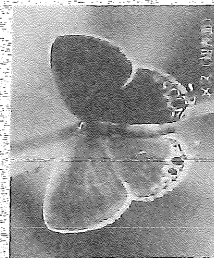
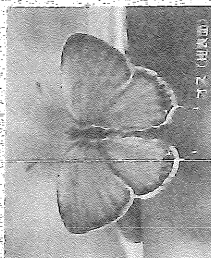
タイロシバメシシミは、翅をひろげたときの幅が30㎝程度の小体な蝶です。翅の裏面が、オスは明るい青紫色、メスは暗褐色です。翅の裏面の模様は、ほぼ雌雄同一で、灰色に灰色の斑点がみられ、そのなかで、はつむりとした黒色の斑点が4点あります。成虫は8月下旬から9月上旬のシバハキの開花時期に合わせて羽化します。成虫のメスはシバハキ(紫萩)に産卵し、羽化した幼虫は、主にシバハキの花やつぼみ、未熟の種子を食って成長します。このため、幼虫も成虫もシバハキが生息している場所でのみ見られます。

シバハキはメギ科の多年草で、低い山地の田畑などの良い草原を好んで生息します。地を這うように生えるため、周りに草木が繁る環境では生育できません。シバハキが繁茂するような環境を維持するためには定期的な草刈りなど、人の管理が必要となります。

タイロシバメシシミの生息域は、九州、四国の南部、南西諸島に分布していますが、現在、実際に確認される地域は、ごく一部となっています。県内では大野岳以外では、ほとんど見ることかできなくなりました。環境省のレッドリストでは、「絶滅危惧ⅠB類」(近い将来における野生での絶滅の危険性が高いもの)に選定されています。

タイロシバメシシミの繁殖には、シバハキの生育が必要であり、大野岳山頂は、地元住民や保存会が草刈りなどの保護活動を積極的に行っています。こうした繁殖環境を保護し、後世に残していくために市の天然記念物に指定しました。小さくて可憐なタイロシバメシシミの保護にご協力を願います。

市の許可なく、卵・幼虫・蛹・成虫・シバハキを含め捕獲することはできません。許可なく捕獲すると、一年以下の懲役若しくは禁錮又は、20万円以下の罰金などに処せられます。



タイワンツバメシジミ保護監視活動日誌

(平成30年8月27日～10月5日)

月日(曜)	天気	時間	監視当番			活動・気付事項
8月27日(月)	晴	8:30~17:00	輝彦	英俊		久留米で5703写真撮り、佐賀52743軽、國丸・光路(監視カメラ設置調整)
8月28日(火)	晴	9:00~17:00	晴人	光路		福岡・広島No.(発電業者4名)、シハハキ開花始め、成虫確認出来ず
8月29日(水)	晴	8:00~17:00	敏晴	満則		発電業者13台、成虫3頭(うち交尾1対)、佐賀9240
8月30日(木)	雨曇	9:00~17:30	孝良	浩通		発電業者(草刈作業)、佐賀3007(大野岳出身女性2名)、2号機カメラ交換(光路)、時間外3948
8月31日(金)	晴	8:30~17:30	英俊	敏晴		発電業者6台、輝彦、孝良、ハイク伊万里で215、佐き100(軽トラ郷学館)、成虫4頭確認
9月1日(土)	曇雷雨	9:00~15:00	國丸	光路		RC(東京大塚氏、雨で写真撮影断念)、ドローン2名(業者)、満則、孝良、霧で確認不可
9月2日(日)	晴	9:00~17:00	常雄	am國丸	pm光路	福岡そ1127(1名)、大阪より親子2名(2時間撮影滞在)、孝良、一徳、♂5頭♀2頭
9月3日(月)	晴	9:00~17:00	晴人	博文	松尾	RC(再び東京の大塚氏)、郷学館山崎氏、國丸、成虫5頭、時間外来訪車1173
9月4日(火)	晴霧	8:30~16:00	孝良	浩通		大野岳出身女性2名、軽や9240、ハイク7台、浦田丈一、郷学館山崎氏
9月5日(水)	晴	8:30~17:00	英俊	満則	松尾	ハイク523(アンテナ点検)、午前7頭・午後4頭
9月6日(木)	曇晴	8:30~17:00	輝彦	光路	國丸	市教看板確認、福岡夫婦、佐い6392(二里2名)、佐ほ3417(夫婦)、♂3♀2(2対交尾)、佐す4989軽トラ
9月7日(金)	曇雨	9:00~11:00	敏晴	博文		♂1頭
9月8日(土)	雨曇	8:30~16:30	孝良	浩通	松尾	観察会(京峰9名地元1名会員8名)、♂4頭♀1頭
9月9日(日)	雨曇	9:00~17:00	正樹	國丸		長わ7564(愛知夫婦)、長わ7661(茨城)、佐い5109、孝良、春文、成虫6頭・卵4個
9月10日(月)	曇晴	9:00~17:00	晴人	光路	am國丸	長崎わ7661(茨城2日目)、卵7・♂2・♀1、國丸(シハハキ植)、ミニハト巡回(野中駐在)、軽5533
9月11日(火)	曇晴	8:30~17:00	満則	博文	am國丸	発電関連2台、佐269、佐た1426(吉田夫婦)、♂3♀4卵12、孝良、山崎、ハチクマ10羽
9月12日(水)	曇晴	8:30~17:00	輝彦	英俊		名古屋8421、吉田金吾他1名、♀5
9月13日(木)	曇雨	8:30~15:00	浩通	敏晴		神戸す1135(発電業者)、佐賀58971(古川の今坂)、♂1♀1
9月14日(金)	雨霧	9:00~17:00	孝良	光路		國丸、統、佐賀ち1407(夫婦)、♂1卵2確認
9月15日(土)	曇晴	9:00~17:00	英俊	博文		佐さ8486(夫婦)、ミニハト巡回、児童観察会(子6、古賀先生、CATV、町公2、松尾有、会2)、♂1♀2
9月16日(日)	晴	9:00~17:00	兼光	昌丈		♀2
9月17日(月)	曇	9:00~17:00	常雄	成春		福岡ら2983(博多昆虫会江藤氏他1名写真撮り)、卵2、佐世保に2327(2名)
9月18日(火)	晴	9:00~17:00	浩通	晴人		長崎め3176(2名峰、吉田喜氏知人)、佐す860(伊万里)、福岡3770、♀1、ハチクマ7羽
9月19日(水)	晴曇	8:30~17:00	孝良	博文	松尾	浦田丈一、佐賀6656(ハイツ)、♂3♀3、時間外来訪車4106
9月20日(木)	大雨霧	9:00~12:30	英俊	光路		幼虫1頭確認
9月21日(金)	小雨	8:30~16:00	浩通	満則		宮崎ち2616、♂1頭、國丸、光路
9月22日(土)	晴	8:30~17:00	輝彦	敏晴	統、光路	佐な1815、佐ゆ4854、佐ゆ184、福な8943、福や3584、佐み2680、ハチクマ17羽
9月23日(日)	晴	8:30~17:00	正樹	國丸		佐賀1613、軽トラ78996、虎雄(帽子届)、孝良
9月24日(月)	曇	9:00~16:30	春文	市丸	光路	軽トラ6408(男1名)、佐す7298(ハチクマ撮影)、福に1010(親子3名)、♂1幼虫3、ハチクマ1羽
9月25日(火)	晴	9:00~17:00	英俊	am光路	pm統	佐世保け6948(松浦市4名)、♀1幼虫1卵1、國丸
9月26日(水)	晴	8:50~17:00	輝彦	満則		成虫確認出来ず、英俊、一徳、光路、ハチクマ5羽
9月27日(木)	晴	8:30~17:00	浩通	光路		福岡ち6725(業者)、佐さ6520(浦田)、英俊、ハチクマ(2:20>11羽、3:40>7羽、4:30>6羽)
9月28日(金)	晴曇	9:00~17:00	國丸	博文		ハチクマ(15:20>14羽、15:25>6羽、15:45>14羽)、成虫確認出来ず
9月29日(土)	雨	8:30~9:15	輝彦	15:00~16:00敏晴		台風24号接近、来訪者なし、山頂霧雨、視界不良
9月30日(日)	雨		常雄	正樹		台風24号通過
10月1日(月)	晴曇	9:00~17:00	晴人	一徳		佐か6408、佐世保ち1458、佐こ1980(保安協)、佐8430、佐む5144(女)、佐つ285、福は4852(業者)
10月2日(火)	晴	9:00~17:00	孝良	統		佐賀1270(電工)、福岡4937(男女2名)、佐世保4674(夫婦)、一徳、國丸
10月3日(水)	晴	9:00~17:00	am英俊	満則	泰弘	福る4323(男女2名)、孝良、國丸、光路、ハチクマ(後50羽以上)、佐ひ9300(ワウス、ハト巡回)
10月4日(木)	曇雨	9:00~16:00	博文	光路		満則、ミニハト巡回、ハチクマ(12:40>2羽)
10月5日(金)	曇晴	9:00~17:00	孝良	12:00、17:00光路		ハイク675、佐世保さ2232(男)、椅子・管理棟片付け、ハチクマ渡りなし(台風?)

活動の成果と今後の課題

活動の成果

本種の個体数の減少を防ぐことを保存会の活動目的とし、次のような取り組みを試みた。

① 生息地周辺の整地し、食草であるシバハギの増殖を目指す。

→ 整地後には草が自生し、シバハギの植栽が可能になった。

② 生息地の周囲に風除けのためアジサイを植樹する。

→ 植栽後日照りが続き、枯死が心配されたが、灌水と苗の株本に敷草と覆土を行い、活着させることができた。

③ 監視カメラと防護柵を設置し、来訪者による乱獲を最小限に抑える。

→ 防護柵と共に、監視当番のいない早朝と夕方の監視に役立ったと思われる。

④ 後継者の育成

→ 地元の中学生と保存会のメンバーが共同で播種、散水、移植、観察会を行い、将来を担う若者の育成に努めた。子供たちは郷土のすばらしさを体感してくれたと思う。卒業時には(今年で4回目)「郷土の宝タイワンツバメシジミ」と題して1時間の講話を行った。郷土に誇りと自信を持ってくれることを期待している。(別添の中学生感想文を参照)

⑤ 「佐賀県ストップ・ザ温暖化対策」表彰

→ 平成31年2月、保存会の活動が自然環境保護に貢献したとして佐賀県から表彰を受けたので、伊万里市の深浦市長に報告を行った。

今後の課題

① 活動を始めて今年で4年目を迎えた。これまでは新しいものへの関心が推進力となって活動してきたが、時が経つにつれて会員間のマンネリ意識が懸念される。皆で知恵を出し合って、起爆剤になるような新しい試み(例えば、タイワンツバメシジミ写真展 タイワンツバメシジミカレンダー作成 親子成虫観察会など)を模索していきたい。

② 会員の平均年齢は67歳と高齢化している中、昨年は30代の男性2名が加入した。これを機会に若者の会員が増え、保存会の活性化と地元に残る子供たちに橋渡しをしてくれたらと願っている。

③ 個体数の減少要因の一つに、狭域での近縁交配による遺伝子の劣化が考えられるので、他の生息地の遺伝子との交雑が必要である。隣接の長崎県平戸島に僅かに生息が確認されているため、専門家の指導のもと双方の遺伝子交換のための交流を予定している。

講話を聞いた中学生の感想文

- ・ 今はボランティアに携わることはできないが、いつかやってみたい。
大野岳は自分たちを見守っているが、タイワンツバメシジミなどの昆虫も見守っていると思った。
- ・ シバハギの移植などを手伝ってみたい。
- ・ チョウを守るため、ロープ張りや草刈りを僕たちが続けていこうと思います。
- ・ 南波多はあまりいいところではないと思っていましたが、南波多にも良いところがあると思った。
- ・ ボランティアの方には頑張ってほしいし、将来は自分たちが引き継いでいこうと思った。
- ・ ほかの地域で絶滅しているのに南波多に生息しているのは、町民の方が活動し頑張っておられるからと思います。
- ・ 私も自然や歴史・文化などに目向けて学んでいきたいと思った。
- ・ 私は今までチョウに興味がなかったけど、今回のお話で関心を持ちました。
- ・ シバハギを植えるボランティアがあるときは参加してみたいと思う。
- ・ 私に少しでも協力できることがあれば協力したい。
- ・ これからは私たちが大切に保護し、後につなげられるようにしていきたいです。
- ・ 私たちが大人になっても生息していたらいいなと思います。そのために私たちにできることを見つけてやっていけたらいいな・・と思いました。
- ・ タイワンツバメシジミが絶滅しないように自分たちができることをやってみようと思いました。
- ・ 松本さんの話を聞いて郷土の良さが一つ増えました。
- ・ 保存会の皆さん、私たちが後を引き継ぐまで頑張っててください。
- ・ 写真集やパンフレットを作成されたことはとても良いことだと思った。
- ・ ワンツの保護活動に私たち生徒も加わり町が盛り上がればいいなと思った。

※講師雑感

中学生にお話をしてみて「打てば響く」ということを実感した。用紙いっぱい感想文を書いてくれ、読んでいるうちに目頭が熱くなりました。トンネルの先が少し見えてきた気がします。